

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 19 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 10 月 日 作成

事務事業名		公営住宅維持補修事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合 計画 体系	政策	1	人々が安心して暮らせるまちづくり	所属部	都市建設部	課長名 辻 賢一郎
	施策	6	計画的な土地利用の推進	所属課	都市計画課	担当者名 西本 理喜子
	基本事業	16	快適な住環境の整備	所属班	都市計画班	(内線)
				法令根拠	公営住宅法・特定優良賃貸住宅の促進に関する法律・合志市営住宅条例・合志市特定公共賃貸住宅条例	

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	5
	1	8	5	1	10158			コスト削減優先度評価結果	9

事業期間  単年度のみ  単年度繰返(開始年度 昭和32 年度)  期間限定複数年度 ( ~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

**【事業の内容】**  
公営住宅264戸と特定賃貸住宅37戸の補修を行う。  
補修を要望するものからの連絡により実施する。

**【業務の流れ】**  
連絡により補修箇所を現地にて確認し、直接又は業者に補修を依頼し施工する。

**【主な予算費目】**需用費・委託料・原材料費

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 補修を要望する者からの連絡により、現地を確認のうえ補修を行う。
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 西沖住宅・栄住宅の内装工事を行った。 新古閑住宅他4住宅の量水器取替え修繕を行った。	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 住宅の補修を要望するもの。	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 修繕費・維持工事の件数 件 ⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 安全に住むことが出来る。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 補修の要望件数 件 ⇒ イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 安全に住むことが出来る。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 要望どおりに補修が出来た割合 % ⇒ イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 入居者満足度 ⇒ イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限定 複数 年度 のみ 記載)  22 年度	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	4,256	2,769	3,837	2,765	4,725	3,000		3,000
		繰入金	千円								
		一般財源	千円								
	(A) 事業費計	千円	4,256	2,769	3,837	2,765	4,725	3,000	3,000		
	うち指定経費	千円									
	うち時間外、特殊勤務手当	千円									
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	6	2	2		2
	延べ業務時間	時間	500	750	800	1,440	800	800	800		
	(B)人件費計	千円	1,985	2,985	3,184	5,731	3,184	3,184	3,184		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	6,241	5,754	7,021	8,496	7,909	6,184	6,184		
	活動指標	ア イ 件	80	70	70	52	70	60	60		
	対象指標	ア イ 件	77	67	70	50	70	60	60		
	成果指標	ア イ %	100	100	100	100	100	100	100		
	上位成果指標	ア イ	未計測	未計測	未計測	未計測					

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
・昭和32年に旧西合志町で御代志住宅を建設し、住宅管理事務が開始された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
・南原住宅は平成16年度より建て替えを実施しており、平成20年度で終了した。  
・経費節減のため、職員による補修を出来る範囲で実施している。  
・現在の入居者からは床や浴槽の修理交換等建物本体に係る補修の要望が多く、退去後の修繕では床や、水廻り設備の修繕費用が高額になってきている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
・入居者より、犬や猫等のペット類を飼っておられる方の対応をして欲しいとの要望があった。  
・入居者より住宅内の樹木の伐採をして欲しいとの要望があった。

事務事業名	公営住宅維持補修事業	所属部	都市建設部	所属課	都市計画課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 意図の「安全に住むことができる」ことにより、結果の「安全・安心なまちづくり」に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 民間が共同住宅の建設が難しい地域で、住宅に困窮する世帯に、住宅の供給を行うことは必要である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象・意図ともに適正である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 必要に応じて、毎年補修をしているので、向上の余地はある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 住宅管理の運営が行えなくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 老朽化による補修費の増加を抑えるため、直営の補修を増やすと、補修額の上昇を抑えることができる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 成果をあげるためには、職員による補修が是非必要である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 入居者からの要望により、補修を順次行っているため公平である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性、④公平性ともに適切である。 ②有効性については、必要に応じ毎年補修を行っているため向上の余地はある。 ③効率性については、直営の補修を増やすことにより、補修額の上昇を抑えることができる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 補修の方法を嘱託委託も含め検討しなければならない。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

補修を嘱託に委託すれば経費の削減が望める。
-----------------------

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	11	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )